

教会建築シリーズ

広瀬基督教教会編

島根県主催しまね建築・住宅コンクールで広瀬基督教教会が最優秀賞を授賞!!



去る3月9日(金)14時から島根県松江市にあるサンラポーむらくもにて、島根県主催平成29年度しまね建築・住宅コンクール授賞式が行われ、44件の応募の中から広瀬基督教教会が建築物部門の最優秀賞を授賞しました。広瀬基督教教会は昨年3月からリフォ

ームを開始。建築の際に使われた資材の多くは広瀬の地域産材であり、加工したのも地元の人などでした。そして、小さな敷地や祭壇を東側に置いたことが、今回の審査で高く評価されました。

当日は、同教会牧師の瀬山会治司祭、建築士、設計士の方々がそれぞれ島根県副知事から表彰状と記念品を授与されました。授賞に際して、同教会信徒の吉村信さんは、「授賞により教会に弾みがついた。昨年の11月に松江の信徒さんからの勧めもあってコンクールに応募し、県全体に知れ渡る教会になった。教会は広瀬の歴史を物語っているのよかった。」と喜びを隠せない様子でした。

広瀬基督教教会の働きのために、これからもお祈りください。(広報部 浪花記)



ウイリアムス神学館 修業礼拝



3月16日(金)午前11時より、京都教区主教座聖堂に於いてウイリアムス神学館・修業礼拝が執り行われました。説教者の小林尚明主教は「神学校を卒業して、現場に出ますと、強い風ばかりです。勿論、先輩の教役者が助けてくれます。信徒さんも助けてくれるでしょう。しかし、最後まであなたを見放さず、助けてくださるのはイエス様なのです。あなたが、困ったとき、強い風、嵐の中でイエス様、

助けてください」と叫ぶのです。必ず、イエス様は叫びを聞いて助けてくださいます。さあ、神学館を後にして、現場に出てきなさい。イエス様のために、一緒に力を合わせ、働こうではありませんか。」と、2名の卒業生(大阪教区1名、神戸教区1名)たちに呼びかけられました。

(司祭 藤井尚人記)



3月16日にウイリアムス神学館を修業することができました。在学中は、日々の課題や共同生活に戸惑うこともありましたが、仲間や先生方から多くのことを学ぶことができました。また、皆さまが祈りの中で覚えてくださっていること、教区に帰った際に励まして下さった言葉が大きな支えとなりました。

神学館の生活で心に残っていることは、朝夕の礼拝です。最初は付いていくことに必死でしたが、少しずつ自分なりの意味を感じる事ができるようになりました。それは、聖書や詩編を通して、神さまの存在を心に刻むということ。朝の生活を祈りと共に始め、一日の終わりに自らの生活を顧みる。その積み重ねを通して、感謝の気持ちや謙虚な思いが湧き出てくる事が多くありました。

4月からは広島復活教会で勤務させていただきます。また住まいは呉信愛教会です。で、それぞれの地での多くの交わりを楽しみにしています。まだまだ、自分自身の力に頼ってしまうことが多くありますが、神さまに私自身を委ねて、誠実に過ごしていきたいと思えます。最後になりますが、これまで育ててくださった皆さまに感謝申し上げます。今後共よろしくお祈りいたします。

(聖職候補生 永野拓也)